END POLIO NOW

2021-2022 ガバナー月信

GOVERNOR'S Monthly Letter

1
2022 January

「不忘感謝先人偉業」

大友亀太郎像

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

国際ロータリー第2510地区 2021-2022年度 ガバナー 大日向 豊吉

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512
E-mail:rid2510@pxva.ne.jp http://rid2510.org

2021-2022年度　国際ロータリーのテーマ

「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

国際ロータリー第2510地区
2021-2022年度地区目標

「世界に奉仕を　地域には感謝を」
「不忘感謝先人偉業」

❶ RI会長テーマの理解と促進
❷ リーダー育成の観点からRLIへの参加を促す
❸ ロータリー情報の提供、広報、クラブ目標の設定などあらゆる手続きにおいて
　インターネットの活用を推進する
❹ ロータリー財団、ポリオ根絶への理解を求め会員の積極的な理解を求める
❺ ロータリー米山記念奨学会の活動への理解と協力を求める
❻ 会員増強、Each One,Bring Oneの推進と「ロータリー奉仕デー」の実施
❼ クラブにおける戦略計画の立案（未来ビジョンの策定）と目標の設定を推奨する

CONTENTS

●春在枝頭己十分 …… 1
●第50回ロータリー研究会に参加して …… 2
●財団地域セミナーに参加して …… 3
●ガバナーノミニー決定宣言 …… 4
●石丸年度ガバナー補佐研修について …… 5
●2022年ヒューストーン国際大会のご案内（第1報） …… 6
●ガバナー公式訪問報告 …… 7
●新会員のご紹介/米山記念奨学会寄付/ロータリー財団寄付 …… 13
●米山奨学生の紹介 …… 14
●ハイライトよねやま …… 15
●ロータリーコーディネーターNEWS …… 17
●第1地域RRFC便り …… 19
●地区カレンダー（12月・1月） …… 25
●会員数・例会数 …… 26

春在枝頭已十分

国際ロータリー第2510地区
2021-2022年度ガバナー
大日向　豊吉（函館五稜郭ＲＣ）

12月５日　ロータリー研究会　東京　９：00～
12月８日まで
12月９日　函館ＲＣ　10：30～
12月12日　米山奨学生選考試験　13：00～
ロータリー財団奨学生選考試験
14：00～
12月13日　ガバナー指名委員会　18：00～
ガバナー諮問委員会　18：30～
石丸修太郎ガバナーエレクト壮行会並びに松浦光紀ガバナーノミニー激励会
19：00～
12月14日　第12グループ会長・幹事会　18：30～

謹んで新年のお慶びを申し上げます
輝かしい新年を迎え皆様のご健康とご多幸を
ご祈念申し上げ、今年も宜しくお願い申し上げます

北国に住む私たちにとりまして「冬将軍の到来」は嫌なものであります。

自己の脳裏に「冬来たりなば春遠からず」と思い描き、耐えることもしばしばあることと思います。

少し気が早いと言われるかもしれませんが、宋代の詩人、戴益の「春を探る」の一節をここに紹介したいと思います。

終日尋春不見春
杖藜踏破幾重雲
帰来試把梅梢看
春在枝頭已十分
終日春を尋ねて春を見ず
アカザを杖つき踏破す幾重の雲
帰り来たりて試みに梅の梢を把ってみれば
春は枝頭にあって已に十分

この詩の大意は、春はどこに来ているのだろうかと一日中尋ね歩いたが見つからない。

アカザの杖をついてあちらこちらと遠くまで歩き回り、疲れ果てて帰ってきた。

ふと自宅の庭にある梅の枝を手にとってみれば、枝先に花をつけ香りを放っているではないか。

探していた春は、こんな身近なところにあったのだ。

「春を求め探しに行くことはなかった。」と載益は気づかされ、この詩を読んだようであります。

春を「真理」または［幸せ」と読み替え、音読すればよりこの詩に親しみが出てきます。

繰り返し読んでいますと、幸福を外に求め、「どこかにきっとあるあるはずだ」と探し求めている間は、真の幸せを求め得ることは出来ません。

「幸せは身近にありますよ！」と諭している詩でもあるような気が致します。

私たちロータリアンには素晴らしい教えがあります。

ご案内のとおり「四つのテスト」であります。

四つのテストは、ビジネスと言う厳しく、変転極まりない世界に生まれ、経済界が経験した最も過酷な時代の中で、実業界と言う競争の場で生き残ってきたものなのです。

真実かどうか―真実は不変であり、時代を超越するものです。

みんなに公平か―腕を伸ばせば届くようなところで、激しくやり合うビジネスに代わり公平さを取り入れたビジネスは、お互いの関係を傷つけるよりも、関係向上に役立つ。

好意と友情を深めるか―人は生まれながらにして他者と協力して生きていく存在であり、愛情を示すことは生来備わっている本能である。

みんなのためになるかどうか―食うか食われるかを原則とする無慈悲な競争を排除するものであり、それに代わって建設的で創造的な競争を導入する。

四つのテストは国家と言う枠を超えたものであり、国境や言葉の障壁を超越するものです。

政治や独断や特定の信条は介在しません。

一つの倫理規範としての存在以上である四つのテストは、いかなる方法であれ、人生を成功に導くための要素を含み持っているのです。

それは今日の社会でも有効性を保持し、かつ実効性のあるものなのです。

最終的には実際に行動し、確認して頂きたいと思います。

皆様の弥栄とご多幸をご祈念申し上げます。

第50回 ロータリー研究会に参加して

国際ロータリー第2510地区
ガバナーエレクト
石丸 修太郎（札幌西 RC）

昨年はWebでの開催であり、私にとってリアルで臨んだ初めてのロータリー研究会は、東京の芝公園の近くにあるメルパルクホールにて2021年12月７日と８日に開催されました。

前々日には東京駅そばのJPホールで朝10時から夕方４時過ぎまで財団地域セミナーが開催され、当地区輩出の羽部RRFCと出村地区ロータリー財団副委員長が大活躍され、大変有意義な時間となりました。大日向ガバナーも表彰されご満悦でありました。

財団地域セミナー後は、場所を移して南青山のレストラン貸し切りで同期のGEが集まっての懇親会で、これまで１年に渡ってZOOMのみでのコミュニケーションしかなかった皆さんが初めて杯を交わす機会となり大いに盛り上がりました。

続く６日は同じくJPホールでGETS＃２と称する研修会が開催され、専ら国際協議会の話でしたが、オミクロン株の出現で、オーランドへ行く者行かない者バラバラ状態で、さっぱり盛り上がることなく終了となりました。

その晩は、ホテルオークラでのRI会長歓迎晩餐会の予定でしたが、入国規制によりRI会長が欠席となり、いささか寂しい晩餐会でしたが、食事は美味しくワインも素敵でさすがはオークラと言った感じでした。

７日から始まった研究会には、酒井PG、羽部PG、福井PG、大日向ガバナー、松浦GNと私の６名が第2510地区から参加しました。福井PGと大日向ガバナーそれに私がそれぞれ配偶者を同伴しての参加でしたが、プログラムが異なるため、食事以外はほとんど別行動でした。

メルパルクの大ホールの席を一つおきに使用するというコロナ対策でしたが、じっと話を聞いているのも御修行と言う感じでしたが、プログラムはとてもよく考えられたもので、ロータリーのリーダーを担う方々を集めるだけのことはあるなぁーという印象でした。

お昼には冷たいお弁当を頂き、午後はパネルディスカッションが２つ組まれていてそれぞれのパネラーのお話はなかなか興味深いものがありました。

１日が終わるとバスで東京会館へ移動して、ロータリー研究会50周年記念祝賀会ということで２晩続けてのフルコースを頂くこととなりました。食事の前には東京西RCの皆さんによる一中節のお披露目ですが、本家を呼んで聞かせて頂けたのは素晴らしいことでした。

最終日の８日はオープンフォーラムでシェカール・メーターRI会長がZOOMで参加され、参加者からの質問に答えて頂いたのですが、自宅から空港に向かう車の中での参加で、揺れる車を見ているだけでこちらが車酔いしそうでした。

セッションの合間を縫って、近所にあったロータリー文庫と米山記念奨学会に立ち寄れたのはラッキーでした。

それにしても全国から500名を超えるロータリアンと同伴者を集めてのイベント、主宰される方もさることながらホストを務められた東京西ロータリークラブの方々には頭が下がります。良い勉強になりました。

財団地域セミナーに参加して

国際ロータリー第2510地区ロータリー財団副委員長
出村 知佳子

12月５日（日）JPタワーホール＆カンファレンスに於いて、2021-22年度財団地域セミナーが登録180名の皆様を迎えて開催されました。ご来賓に辰野克彦RI理事、三木明TRF管理委員、千玄室公益財団法人ロータリー日本財団理事長、佐藤芳郎RI理事エレクトをお迎えして開会されました。

大変残念ながら、TRF副管理委員長のユン・サンクー様が来日できなくなり、ビデオレターでのご参加になりました。コロナ禍で検温・消毒・健康調査票の記入など徹底的な対策を講じての開催になりました。

『パネルディスカッションみんなのロータリー財団』

「みんなのロータリー財団」のテーマのもと、ロータリー財団地域セミナーのパネルディスカッションが行われました。モデレーターの羽部大仁RRFC（第１地域より、ロータリー財団の補助金プログラムの使い方（コロナ禍でWFの含めた変更事項もある中）について、３つの質問がありました。

①あなたの地区での補助金の活用とアイディア
②あなたの地区のファンドレージングの事例
③EREYについて

その質問を受け、第２地域の中村公彦ARRFCからは、2760地区で取り組んでいる「ロータリー奉仕デー」（ワールドフード＋ふれ愛フェスタ）『ゼロミッション』（コロナゼロ、カーボンゼロ、ポリオゼロ）について、新しい環境分野である「環境」について取り組み、公共イメージの向上にも結び付けている素晴らしい事例が紹介されました。 第３地域・第2760地区 宮里唯子ガバナーエレクトからは、『グローバル奨学金』選考が厳選して行われ、その後「学友」となった奨学生が、世界中の国際機関で活躍する様子をロータリーアンに広く知って頂く機会を作っていくことで、「グローバル奨学金」、「ロータリー財団」の理解が拡がっている嬉しい事例をお聞きすることができました。

第１地域・第2510地区からは、MGやGG等の申請・事業の実施を通してその素晴らしさを体感し、その理解が自らの寄付推進へ繋がり、それと同じように若手会員が羽部RRFC の「Take Aciton」を見ていく中でその大切さを強く感じ、「羽部さんが大好きだから、PHSに入会しました」と言った、若手会員のエピソードも紹介されました。 それぞれの個性が表れ、地区、地域の「多様性」が生かされたパネルディスカッションとなりました。 貴重なセミナーに参加させて頂きました事、深く感謝申し上げます。

ガバナーノミニー決定宣言

2024-2025年度国際ロータリー第2510地区ガバナーノミニーの選出については、地区ガバナー指名委員会より出村知佳子君（札幌北RC）が選出された旨、報告を受けました。

国際ロータリー細則第12条第2節［12.020.ガバナー選出手続］に基づき、出村知佳子君を2024-2025年度第2510地区ガバナーノミニーとすることを決定し、ここに宣言いたします。

国際ロータリー第2510地区
2021-2022年度ガバナー　　大日向　豊吉
（函館五稜郭RC）

【2024-2025年度ガバナーノミニー】

■会 員 名　**出村（でむら）　知佳子（ちかこ）**（札幌北ロータリークラブ）

■職業分類　空気調整配管工事
㈱ダンテック　代表取締役

■学　　歴　1991年　北海学園大学経済学部経営学科　卒業

■職業経歴　1994年　株式会社ダンテック　入社
2005年　〃　取締役
2014年　〃　代表取締役　現在に至る

【ロータリー歴】

2002年１月28日	札幌北ロータリー入会
2005－2006年度	国際奉仕委員長（理事）
2010－2011年度	社会奉仕委員長（理事）
2012－2013年度	クラブ幹事
2013－2014年度	会計（理事）
2016－2017年度	クラブ会長
2019－2020年度	クラブ奉仕委員長（理事）
2021－2022年度	クラブ副会長（理事）

【地区役員歴】

2007－2010年度	地区世界社会奉仕委員長
2010－2019年度	地区ロータリー財団委員
2014－2016年度	地区危機管理委員長
2014－2016年度	地区青少年奉仕委員長
2017－2020年度	地区財団奨学金･学友委員長
2020－2022年度	地区ロータリー財団副委員長

【そ　の　他】　メジャードナー（レベル３）
米山メジャードナー（10回目）

石丸年度ガバナー補佐研修について

次期地区代表幹事　**河口　義憲**（札幌西ＲＣ）

大日向ガバナー年度の函館の地区大会も済み、石丸年度もいよいよ視野に入り数々の行事に対し計画の準備に入っているところです。次年度の基本方針の案として、石丸ガバナーエレクトはクラブの活性化、青少年奉仕活動の活性化をキーワードにあげております。地区の考え行動を各クラブに伝達し納得の上活動してもらい、その連携を各ガバナー補佐の役目とし、その実効性が高くなるようにとガバナー補佐研修が計画されました。このようなガバナー補佐研修は今までには開催されたことがないと思います。ガバナー補佐は2002年７月より公式な役職として運営されるようになったもので、DLP(district leader plan)の導入のため、地区組織の効率化、クラブ支援の強化、ガバナー本来の任務に専念、将来の指導者育成などを目指したものです。ロータリー本来の、皆でよいことを、そのためそれぞれのクラブでの活動を活性化していく事がガバナーの主な使命であるわけですが、一人で69クラブを回り、把握し、活性化することには無理があるのは明白で、そのために地区のガバナー補佐と情報を共有化し、共通した認識で活動していただくことを念頭に考えております。全９回を予定していますが、３回までが新型コロナの問題もありZoomでの開催となりました。１，２，３回目はロータリーをよく知ってもらうための基本的な話となりました。研修リーダーの嵯峨PG，研修委員の小山PG、福井PGからガバナー補佐の役割、ロータリーの理解、クラブ活動への支援に関する研修が行われ、２回目には各研修委員に加え酒井PG、堀本雅司地区ICT委員長が、３回目には松倉弘地区公共イメージ向上委員長の話もありました。基本的な話から始まりすべてを網羅し、大変内容の濃い研修となりました。第４回は12月11日に札幌グランドホテルにて、初めて一同にリアル研修が行われました。各グループガバナー補佐、研修委員、地区幹事等の関係者が一堂に会し、各紹介から始まり、グループディスカッションでクラブ支援として何ができるかが話し合われました。自己紹介も含む話の中から、一人一人の個性がにじみ出て、これから一丸となって年度をこなすための親近感、信頼感が強まったと思われます。まだ半分も済んでおりませんが、各ガバナー補佐の方々には今後の活動の参考にしていただけることが多かったのではないかと考えております。今後の会議内容は、実務を考慮したものとなり、次年度の計画が終了する前の段階で参考になるものをと考えております。

▲12月11日グランドホテルでの第4回ガバナー補佐研修

2022年ヒューストン国際大会のご案内（第1報）

地区RI国際大会推進委員会
委員長
福 田 武 男
（千歳RC・PG）

第2510地区ロータリアンの皆様、2022年の国際大会は、テキサス州ヒューストンの地にて、2022年６月４日～６月８日の５日間開催されます。国際大会に多くの会員そして家族の皆様が参加され親睦を深めることができれば幸いでございます。

開催地ヒューストン市は、テキサス州南東部にあり、ニューヨーク市、ロサンゼルス市、シカゴ市に次いで全米第４の人口を抱えるテキサス州内最大の都市です。特に、メキシコと国境を接するテキサス州の最大都市です。ヒューストン市郊外には、NASAのジョンソン宇宙センターがあり、国際宇宙ステーションの管制を行うほか、日本人を含む数多くの宇宙飛行士の訓練を行っています。全米有数規模のジョージ・ブッシュ国際空港を擁し、ユナイテッド航空のハブ空港として中南米路線の拠点となっています。

JAL　6月4日（土）～6月9日（木）4泊6日（1名1室利用追加代金48,000円）

◎ご旅行代金／お一人様：15名～19名様　298,000円／お一人様：20名～24名様　284,000円
（燃油16,000円＋空港税　12,620円別途かかります）

日次	月　日	地　名	現地時間	交通機関	日　程	食事
1	6月4日（土）	新千歳空港　発 羽田空港　着 羽田空港　発 ダラスフォトワード　着 ダラスフォトワード　発 ヒューストン　着	07：30 09：05 10：55 08：40 12：36 13：52	JL 500 JL0012 AA5731 専用車	日本航空国内線にて羽田空港へ 日本航空国際線にてダラスフォーワードへ。 ＜日付変更線＞（飛行時間11時間30分） アメリカン航空にて ヒューストンインターコンチネンタル空港。 着後ホテルへ	朝：ー 昼：ー 夕：・
2	6月5日（日）	ヒューストン	午前 夜		国際ロータリー2022年 ヒューストン大会参加 北海道ナイト（別途、ご案内いたします）	朝：○ 昼：ー 夕：ー
3	6月6日（月）	ヒューストン	終日		自由行動　オプショナルツアーでお楽しみください。 ①ヒューストン市内観光と NASAジョンソン宇宙センター	朝：○ 昼：ー 夕：ー
4	6月7日（火）	ヒューストン	終日		自由行動　オプショナルツアーでお楽しみください。 ②ゴルフ　③メジャーリーグ観戦 ④アウトレットショッピング	朝：○ 昼：ー 夕：ー
5	6月8日（水）	ヒューストン　発 ダラスフォトワード　着 ダラスフォトワード　発	08：00 09：19 11：10	専用車 AA5881 JL 011	ヒューストンインターコンチネンタル空港へ。 アメリカン航空にてダラスフォーワードへ。 日本航空国際にて羽田空港へ ＜日付変更線＞（飛行時間13時間10分）	朝：○ 昼：・ 夕：・
6	6月9日（木）	羽田空港　着 羽田空港　発 新千歳空港　着	14：20 17：35 19：10	JL 525	着後、 日本航空国内線にて新千歳空港へ	朝：・ 昼：ー 夕：

※発着時間及び交通機関は変更になる場合がございます。航空会社 / JL:日本航空 AA:アメリカン航空

■　募集人員 / 30名様　最少催行人員：15名～20名様
■　利用予定航空会社 / JL：日本航空　AA：アメリカン航空
■　利用予定ホテル / ルメリディアンヒューストンダウンタウン　同等クラス（会場まで700m徒歩9分）
■　添乗員員 / 同行いたしません（現地ガイドが対応致します）
■　食事条件 / 朝食4回　（機内食は除く）

◎オプショナルツアー /（専用車・日本語ガイド付き）参加人数により費用が変動します。
①ヒューストン市内観光とNASAジャンソン宇宙センター
②ゴルフ　パブリックコース　1R（パワーカート付き）
③メジャーリーグ：アストロズ・エンゼル戦観戦（開催の場合）（ホテル～徒歩10分）
④アウトレットショッピング

お申込・お問い合わせ先
株式会社 ノース・スター・トラベル
千歳市千代田町５丁目５番１
電話 0123-24-2121　FAX 24-5514

ガバナー公式訪問報告

紙面の都合上ならびに原稿の到着日により掲載順が前後する場合がございますのでご了承ください。

函館亀田ロータリークラブ　11/1 月

11月１日(月)大日向豊吉ガバナー、宮﨑昌ガバナー補佐、後藤広隆地区幹事をお迎えしフォーポイントバイシェラトン函館にてガバナー公式訪問が開催されました。

10時から開催された会長・幹事懇談会では函館五稜郭RC所属の地元ガバナーということもあり、終始和やかな雰囲気の中、会長よりクラブ運営にあたっての今年度のテーマ、クラブの特徴などを説明させていただき意見交換が行われました。

また11時からはクラブアッセンブリーが開催され、各委員長より今年度の活動方針を説明させていただき、大日向ガバナーと積極的な意見交換が行われました。

12時30分からの例会では大日向ガバナーから講話をいただきました。その中で大日向ガバナーが特に強調されていたのはロータリー財団と米山奨学金の重要性、そしてクラブ会員間の相互扶助を高めるためには真に友情を深めていくことが大切であり、それが先々の会員増強にも繋がるのではないかという貴重なお話を頂きました。

様似ロータリークラブ　11/9 火

令和３年11月９日(火)10時30分公式会場である「アポイ山荘」に大日向ガバナー、山田ガバナー補佐、朝倉地区幹事をお迎えしての公式訪問を無事終える事が出来ました。

午前11時からの会長・副会長・幹事・四大各委員長との懇談会では当クラブの会長、幹事合わせて12名で懇談させていただき、様似RCの現状等について高村会長より当クラブの特徴や活動状況の説明がされました。

その後、各委員会の委員長より自己紹介を兼ねて本年度の方針と活動計画を説明して、その後大日向ガバナーより総評をいただきました。また、クラブ運営については、「家庭と地域に理解を頂けるよう努力してほしい」という教示があり、終始和やかな雰囲気のなかで合同の懇談会を終了いたしました。

12時15分よりクラブ例会が開催され、点鐘の後ロータリーソングを出席者で合唱して和やかな雰囲気での開会となりました。

大日向ガバナーからRIのテーマ、地区の目標、会員増強に向けての連携などについてお話をユーモアを織り交ぜ卓話をいただきました。コロナの影響や行き届かない点が多々あったとは思いますが、今後のクラブ活動に向けて、とても参考になる有意義な時間を過ごすことができました。そして、終了後全員で記念写真を撮り修了しました。

大日向がバナーにはご指導を頂き本当にありがとうございました。

浦河ロータリークラブ　11/9 火

11月９日火曜日に大日向豊吉ガバナー、朝倉純一地区幹事、山田一孝第８グループガバナー補佐、長浜和也ガバナー補佐委員をお迎えして、浦河ＲＣの公式訪問を執り行う事ができました。当初は８月31日火曜日に公式訪問の予定でしたが、北海道の新型コロナウィルス感染拡大防止による緊急事態の発出により、中止、延期を余儀なくされましたが、今年度も無事にお招きして公式訪問して頂ける運びとなりました。

公式訪問は当浦河RCの例会場である浦河ウエリントンホテルで夜間に行いました。夕方の16時から会長・幹事懇談会を行い、中長期的な奉仕活動の計画について、会員増強の在り方等、具体的な活動内容について貴重なご助言を頂く事ができました。17時からのクラブ協議会では、各員会の活動計画を発表させていただき、大日向ガバナーよりご指導を賜ることができました。18時からのクラブ例会では大日向ガバナーの卓話を頂戴し、シェカール・メータRI会長のテーマ「奉仕しようみんなの人生を豊かにするために」に準えて、奉仕活動の本質のお話を頂きましたが、大日向ガバナーのお人柄が伝わってくる、親しみやすく、分かりやすい卓話に会員一同聞き入っておりました。貴重なお話を頂き、ありがとうございました。

例会終了後は、大日向ガバナーを囲んで会員みんなで記念撮影を行った後に、お疲れかと思いましたが、懇親会を企画しました。懇親会の場ではアルコールも入り、より気さくにロータリー活動について大日向ガバナーと意見交換でき、とても貴重な時間を過ごすことができました。

会員一同とても有意義な公式訪問になったと感じております。心より御礼申し上げます。

多忙な中、当クラブに訪問頂き、本当にありがとうございました。

えりもロータリークラブ　11/11 木

当初の10月21日の公式訪問予定より、コロナウイルス感染、蔓延防止の為に延期されていた公式訪問を、11月11日(木)に例会場にて、時間を短縮して、大日向豊吉ガバナー、朝倉純一地区幹事、山田一孝ガバナー補佐、長浜ガバナー補佐委員をお迎えして、えりもRCの会員13名が出席して、AM11時より会長、幹事懇談会、クラブ奉仕委員会報告、PM12時から例会を開催いたしました。クラブの内容及び活動報告書は提出してますが、改めて報告致しました。その後、大日向ガバナーより講話をして頂きました。

冒頭で、10月８日に開催された地区大会は、皆さんのご協力により無事に終える事にお礼を述べられました。そしてNHKで放送されたプロジェクトXを見ての感想を、熱く語られ、そのえりもの地を訪ねた想いを語られ、今また赤潮と言う問題に言及されました。その上で地元の人たちが一致団結して地元を活性化する為に、私たちロータリアンは、何とか知恵を出し合って、勇気を持って前に進もうと話され、その為ロータリー活動を通じて地域の奉仕が、課題の会員増強にもつながって行くのではと話されました。

会員一同、有意義なお話を拝聴しました、今後もお体をご自愛くださり活動されますよう、会員一同、祈念致します。

函館五稜郭ロータリークラブ　11/12 金

11月12日(金)大日向豊吉ガバナー、五十嵐稔11グループガバナー補佐、能戸彰地区代表幹事、朝倉純一地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。

10時30分より会長・幹事懇談会、11時よりクラブアッセンブリー、12時30分より例会を行いましたが、ガバナーのホームクラブということもあり、終始和やかな雰囲気で進められました。

連日の公式訪問の疲れから喉を傷め、声がかすれてしまっていたガバナーでしたが、会長・幹事懇談会では地区やグループの在り様について熱心に語られ、クラブアッセンブリーではその場で唯一の他クラブからの参加者だった五十嵐ガバナー補佐にお話をいただく場面が多かったものの、例会においては30分間しっかりとお話しされました。地区大会の尽力に対する会員へのねぎらいから始まり、他クラブを訪問した際に感じられたことやロータリー財団の素晴らしさなどを説いておられました。

コロナ禍で厳しいスケジュールの中での公式訪問のようですが、お体を大事にして残りの訪問を無事に終えられることをご祈念いたします。

苫小牧北ロータリークラブ　11/16 火

11月16日(火)大日向豊吉ガバナー、小幡直樹ガバナー補佐、朝倉純一地区幹事、木村京子ガバナー補佐幹事をお迎えし、グランドホテルニュー王子にてガバナー公式訪問が開催されました。午前10時より会長・幹事懇談会が開催され、赤川会長から当クラブの特徴・活動状況についての説明がされました。午後11時からクラブ協議会が開催され、各委員長より活動計画の説明が行われました。クラブの会員増強についての状況や奉仕活動について、また公共イメージ向上の大切さなど講評を頂き、これからのクラブ活動にとってとても参考になりました。午後12時30分より例会が開催され、ガバナーより地区目標・重点課題についての卓話を頂戴しました。また、ご自身の御経験に基づいた地域経済の活性化のお話も地域貢献の形としてとても大切なことだと認識いたしました。お忙しいところ、遠路お越しいただきましてありがとうございました。

苫小牧東ロータリークラブ　11/16 火

11月18日(木)大日向ガバナー、朝倉地区幹事、小幡ガバナー補佐をお迎えし公式訪問が開催されました。10時より会長・幹事懇談会を会長、幹事、会長エレクト、会計幹事が出席し、苫小牧東RCのホームページをプロジェクターを使用し、クラブ創立から現在に至るまでのクラブの活動報告を交え御説明させて頂きました。中でも例年国際奉仕委員会によるクリスマスドロップ作戦が同日ZOOMを利用し、実施される旨を御説明させて頂き、過去の実施映像を興味深く御覧になられておられました。

クラブ協議会では会員増強部門、公共イメージ部門、クラブ管理運営部門、奉仕プロジェクト部門、ロータリー財団部門の各担当がこのコロナ禍の中、活動してきた報告、下半期の活動計画の発表させて頂きました。

12時30分からの通常例会では大日向ガバナーによる卓話を頂き、例会終了後、参加者全員による記念写真を撮影し公式訪問を無事終えることが出来ました。

大日向ガバナー、朝倉地区幹事、小幡ガバナー補佐、長時間にわたる当クラブへの公式訪問誠に有難う御座いました。今回の御訪問を期に更なる活動の幅を広げてまいる決意で御座います。

室蘭東ロータリークラブ　11/24 水

令和３年11月24日(水)大日向豊吉ガバナー、小林大輔地区幹事、鈴木啓一ガバナー補佐、望月孝ガバナー補佐幹事をお迎えして今年度のガバナー公式訪問が開催されました。

10時より会長・幹事・会長エレクト懇談会が開催され、堺会長より当クラブの活動状況の報告、鈴木ガバナー補佐より第９グループの活動報告がありました。終始和やかな雰囲気の中で懇談が行われました。

11時よりクラブ協議会が開催され、各委員長より今年度の活動計画の発表、新入会員の紹介がありました。大日向ガバナーのご講評では、コロナ禍における運営のあり方、プログラムについて、会員による内部卓話の充実、会員増強についてアドバイスを頂きました。

12時30分よりガバナー公式訪問例会開催となり、新入会員の入会式が行われた後　大日向ガバナーの卓話では、ご自身の仕事のお話、ロータリー入会時のエピソード等ユーモアを交えながらお話頂き、ロータリーの心と原点、相互扶助を大事にして下さいと結ばれました。

閉会後、ガバナーを囲んだ記念撮影をし公式訪問は終了となりました。

この度は、ご多忙の中、遠方よりご訪問頂きありがとうございました。

登別ロータリークラブ　11/24 水

当初９月８日に予定されていた公式訪問ですが、緊急事態宣言のため延期され、改めて11月24日に行われる運びとなりました。

11月24日、午前中は室蘭東RCに訪問、その後14時から室蘭市長の表敬訪問を行われたとのことで、その足で、大日向豊吉ガバナー、鈴木啓一ガバナー補佐、小林大輔地区幹事、望月孝一ガバナー補佐幹事が訪問されました。

あいにく、登別市長表敬訪問は市長のスケジュール調整がつかず行えませんでした。

会場の登別グランドホテルでは、感染防止のため広い会場を使用して密にならないよう会長・幹事懇談会そしてクラブ協議会と進行しました。

会長・幹事懇談会では、八木橋俊輔会長から当クラブの今年度方針を説明し、当クラブの例会場の問題や現況を報告いたしました。その後、大日向ガバナーからは会員増強について、女性会員の増強、心構えなどアドバイスして頂きました。

そして例会に入ってからは、大日向ガバナーによる卓話を拝聴致し、こうして直にガバナーからのお話を聞く機会に恵まれて有難く新鮮な気持ちで拝聴することが出来ました。

懇親会では、テーブル席が密にならないよう配慮し、遠藤秀雄パストガバナーを始め多くの会員の皆さんとお話をされ懇親を深めることが出来ました。

現在、会員の中には夜の会合を控えている方もおりますので、欠席される方もおりましたが、登別RCにとりましても大変有意義な有難い公式訪問となりました。

ありがとうございました。

室蘭ロータリークラブ　11/25 木

11月25日(木)室蘭プリンスホテルにて、大日向豊吉ガバナー、小林大輔地区幹事、鈴木啓一ガバナー補佐、望月孝一ガバナー補佐幹事をお迎えしガバナー公式訪問が開催されました。午前10時より会長・幹事懇談会が、午前11時よりクラブ協議会が開催されました。

午後12時30分より例会が開催され、大日向ガバナーにご講演いただきました。ロータリアンの姿勢を中心に話されたご講演内容を一部紹介します。「会員増強のための一つとして、内部卓話の充実を目指す、会員同士の相互扶助で関係性を高める、仕事を通じてより会員同士が親しくなり、充実したクラブづくりを目指す。それが外に向けて輪となって、大きく広がる波及効果が出て、クラブに入会したいという人が現れる。また会費のあり方も検討するなど、知恵を出し合って生涯ロータリアンでいるようにしてほしい。ロータリー財団、米山奨学会へご理解をいただき、充実を図ってもらいたい。」

COVID-19拡大による緊急事態宣言により一度は延期された公式訪問でしたが、無事に開催できたことに感謝いたします。

洞爺湖ロータリークラブ　11/25 木

カレンダーの枚数も残りわずかとなった11月25日、今年度ガバナー公式訪問として大日向ガバナーが当クラブを訪問されました。小林地区幹事、第９グループの鈴木ガバナー補佐、望月ガバナー補佐幹事とともに午後３時に真屋洞爺湖町長を表敬訪問、次いで午後４時30分からは当クラブ例会場である洞爺湖万世閣ホテルレイクサイドテラスにて会長・幹事懇談会、クラブ協議会と続き、午後６時30分から例会が開催されました。残念ながら仕事の関係で１名が出席できませんでしたが、活発な意見交換やガバナーの飾らないお人柄もあり、大変盛り上がりました。なかなか会員数が増えない状況が続いていますが、焦ることなく「明るく楽しく」をモットーに例会,地域活動に全員で取り組んでいきたいと思っています。

室蘭北ロータリークラブ　11/30 火

2021年11月30日、大日向豊吉ガバナー、鈴木啓一ガバナー補佐、小林大輔地区幹事、望月孝一ガバナー補佐幹事をお迎えしてガバナー公式訪問が行われました。

会長・幹事懇談会では、当クラブの会員のバランスの良さを評価して頂き、創立50周年についても、そのバランスの良さを活かして運営する事へ期待するとのお言葉を頂きました。

クラブ協議会では、各委員長出席の中活動報告を発表し、50周年実行委員会からは日程変更等の報告もありスムーズに進行し最後は新会員２人からの質問も大変新鮮でした。

例会では、他人の職業を学ぶことにより自分の職業に役立つ事を得るそして他の人に奉仕する事により自分が成長して行く等、様々な事を拝聴させて頂きました。

心より感謝いたします。

新会員のご紹介

（敬称略）

室蘭東RC
金 子 みづえ
令和3年11月24日入会
生命保険

小樽RC
佐 橋 正 二
令和3年12月7日入会
商業地方銀行

札幌西北RC
長谷川 累偉
令和3年12月2日入会
事務用機械器具販売

岩見沢RC
及 川 祐 太
令和3年12月入会
車両販売

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

羽幌RC	大橋 鉄夫 会員	（2回）	11月29日
留萌RC	燕 美雪 会員	（1回）	11月24日
滝川RC	池田 吉隆 会員	（1回）	11月10日
滝川RC	坂本 和繁 会員	（3回）	11月10日
札幌RC	伊藤 義郎 会員	（8回）	11月29日
札幌北RC	相沢 芙束 会員	（11回）	11月30日
札幌北RC	藤城 英明 会員	（3回）	11月30日
札幌東RC	渋谷 勝利 会員	（1回）	11月30日
札幌東RC	坂口 孝一 会員	（2回）	11月30日
札幌東RC	和田 一仁 会員	（3回）	11月30日
札幌東RC	出倉 恵隆 会員	（4回）	11月30日
札幌南RC	夏井坂信幸 会員	（5回）	11月17日
札幌南RC	福山恵太郎 会員	（6回）	11月17日
函館RC	原 一彰 会員	（4回）	11月26日
函館RC	日下部博久 会員	（4回）	11月26日
函館セントラルRC	伊藤 道雄 会員	（17回）	11月17日
函館セントラルRC	鍋谷 操子 会員	（18回）	11月17日
函館セントラルRC	中原 勝司 会員	（1回）	11月17日

米山功労クラブ

札幌RC	（40回）	11月29日
札幌東RC	（61回）	11月30日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

メジャードナー

岩見沢RC	江本 勝典 会員	レベル2	11月25日
札幌西北RC	小川 眞治 会員	レベル1	11月22日
函館セントラルRC	南 茂樹 会員	レベル1	11月29日
函館セントラルRC	坂下 賢二 会員	レベル1	11月29日

ベネファクター

岩見沢RC	北澤 治雄 会員	11月25日

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

羽幌RC	原田 正志 会員	（1回）	11月29日
羽幌RC	石川 士史 会員	（3回）	11月29日
赤平RC	石野 茂 会員	（2回）	11月25日
赤平RC	渡部 芳己 会員	（3回）	11月25日
砂川RC	高橋 俊美 会員	（2回）	11月30日
砂川RC	水島 孝嗣 会員	（3回）	11月30日
江別RC	津田 正勝 会員	（4回）	11月29日
岩見沢RC	菅野 聖人 会員	（1回）	11月25日
岩見沢RC	中路 幹雄 会員	（1回）	11月25日
岩見沢RC	山根 良隆 会員	（1回）	11月25日
岩見沢RC	武蔵 輝彦 会員	（2回）	11月25日
岩見沢RC	中村 興治 会員	（2回）	11月25日
岩見沢RC	田苅子敬夫 会員	（4回）	11月25日
札幌RC	松村 亮一 会員	（3回）	11月29日
札幌西北RC	渡邊 葉子 会員	（6回）	11月3日
札幌東RC	出倉 恵隆 会員	（3回）	11月30日
札幌東RC	和田 一仁 会員	（3回）	11月8日
札幌幌南RC	北川 好和 会員	（3回）	11月14日
札幌真駒内RC	内海 知行 会員	（2回）	11月29日
長沼RC	古川 大之 会員	（4回）	11月29日
室蘭北RC	米塚 豊 会員	（1回）	11月30日
室蘭北RC	西尾 静枝 会員	（2回）	11月30日
室蘭北RC	内池 眞人 会員	（3回）	11月30日

ポール・ハリス・フェロー

岩見沢RC	神田 薫朋 会員	11月25日
岩見沢RC	小川 有積 会員	11月25日
札幌北RC	吉井 千博 会員	11月3日
長沼RC	小西 教夫 会員	11月29日
室蘭北RC	西野 義人 会員	11月30日
函館セントラルRC	原 利介 会員	11月29日
函館セントラルRC	丸山 泰觀 会員	11月29日
函館セントラルRC	奥村 孝司 会員	11月29日
苫小牧RC	佐々木隆治会員	11月26日

米山奨学生の紹介

金　千（中国）
北海道大学・札幌はまなすRC

国際交流の懸け橋に

中学時代から、日本の映画や文学に魅了され、ぜひ一度日本に旅行をしてみたいとずっと考えていたが、大学時代に日本語を学んだことで、より日本の発達した科学技術や奥深い文化に興味を持ち、日本への留学を真剣に考え始めた。大学時代の専攻が日本語であったので、自分がそこで取得した日本語の語学能力を活かし、日本で多くの人々とコミュニケーションを取りたいと考えた。また、日本での生活を体験し、実際の日本社会を観察することで、日本の素晴らしさを吸収したいと考え、日本への留学を決意した。

大学卒業した後、私は北海道に来て、北海道大学の学生になった。修士時代、北海道大学院文学院に所属し、映画研究を行った。映画に対する深い関心があるが、映像研究の社会的な応用可能性についていつも考えていた。その時、通訳のアルバイトをしていて、海外からの観光客と接触する機会があった。旅行先を北海道に選ぶ理由を聞くと、北海道をロケ地とした映画に影響されると答えた方が多かった。映画を含めたコンテンツ産業が観光産業に大きく影響していることを感じたので、修士課程を終了した後、私は北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院に進学し、博士課程から、映像内容による誘発した観光活動に関する学術研究を始めた。

私が目指す研究者像は、グロバールの視野のもとで、文化多様性の時代における国際観光研究を図る分野横断的な研究者である。研究においては、理論と実証の往還関係を意識し、データと誠実に向き合い、厳密な論証を心がけ、観光・文化研究に対して知的に貢献できるよう尽力する。また研究活動のなかでは、自身の研究成果を世界的に広く発信していくとともに、実証的な研究成果をもとに政策提言へと繋げていくことを目標とする。

研究以外において、私は異文化交流に関するボランティア活動にも熱心に参加している。大学時代は留学生支援を行い、留学生との交流活動を組織運営していた。現在、私は札幌の三角山放送局にて市民パーソナリティを務め、自分が体感した日本と中国の都市の魅力や文化を、日中のオーディエンスに発信している。

日本留学を終えた後、チャンスがあれば、引き続き日本の研究期間で研究を続けていきたいと考えている。自分の語学能力を活かし、研究成果を国際的に共有し、社会に貢献していきたい。また、中国に将来帰国した後も、研究に取り組みながら、中国と日本の懸け橋として、両国の相互理解や友好関係を深めることを目指し、努力していきたい。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

Vol.261
2021年12月14日
発行

1. 【訃報】理事長 齋藤直美氏 逝去

当会理事長の齋藤直美氏が、11月28日にご逝去されました。享年84歳でした。

故・齋藤理事長は1979年に豊田ロータリークラブに入会。2016-18年度国際ロータリー理事、2010-13 年度国際ロータリー日本青少年交換委員会理事長、2006-07年度第2760地区（愛知県）ガバナーなど、ロータリーにおいて要職を歴任されました。

当会においては2018年９月から第七代理事長をお務めいただき、今年で２期２年目でした。理事長就任後は各国の学友会を精力的に訪問したほか、新型コロナウイルスの流行に伴い、奨学生の生活や健康を真っ先に憂慮し、奨学会として迅速な対応と情報開示を指示するなど、本奨学事業のために心を尽くされました。ここに謹んで哀悼の意を表し、お知らせ申し上げます。

学友会から続々と寄せられた追悼メッセージは当会でとりまとめ、斉藤病院を通じてご遺族へ届けてもらいました。

なお、後任理事長については、役員候補者指名委員会にて指名を受けた理事長候補者を理事会に諮り、決定されます。

2. 2022 年の年賀状を学友がデザイン

当会では、評議員、理事、地区米山記念奨学委員長、奨学生、日本在住の学友などへ毎年約4,700枚の年賀状を送っています。来年の年賀状は、水墨画家として活躍する米山学友、姚 明さん（2005-07／柳川ＲＣ）によるデザインです。姚さんはこの作品について「子虎たちが戯れる様を描きました。日本では世界の中でも特に少子化が進んでいるので、新年には虎の家族のように子宝に恵まれ、日本の社会がより活気に満ちたものになるよう、祈りを込めました」と語ります。

姚 明（ヤオ ミン）：1967年、中国内モンゴル生まれ。1993年に来日、福岡教育大学大学院美術教育学研究科にて修士号取得、九州産業大学大学院芸術研究科博士後期課程修了。
現在、NPO 法人日中国際交流センター理事長、九州産業大学芸術学部非常勤講師、臨沂大学（中国・山東省）客員教授。日本や 中国など世界各国の美術館・画廊などで個展28回。日本外務大臣賞、文部科学省文部大臣賞、中国駐日本大使館賞受賞。

3. 寄付金速報 ― 送金はお早めに ―

11月までの寄付金は、前年同期と比べて3.0％減（普通寄付金：1.1％減、特別寄付金：3.9％減）、約2,100万円の減少となりました。未だ前年同期よりも減少のまま推移していますが、先月までの寄付累計額から比較すると１千万円ほど減少幅が縮まり、少しずつではありますが、寄付状況も好転しているように感じられます。

12月30日までに当会口座に着金した特別寄付金については、来年１月末日までに各クラブ宛に確定申告用領収証を発送します。年内お早目にご送金下さいますようよろしくお願いいたします。

4. 韓国米山学友会が２年目の Zoom 総会

11月20日、韓国米山学友会の総会が今年もオンラインで開催されました。韓国国内の学友だけでなく、日本、台湾、ネパール、タイから、また、当会からも水野副理事長、山崎副理事長、駒井常務理事、そして私、柚木が参加し、総勢74人となりました。

総会では、活躍した学友への感謝状授与、活動・会計報告、韓国米山学友会が支援する日本人奨学生と卒業生10人の近況報告、2023年に開催される「再会 in 関東」の告知が行われましたが、全体を通して日本人奨学生が同時通訳を行い、日本語で配信を聞くことができました。韓国米山学友会は今年10月に台湾米山学友会と友好関係を締結しており、署名入りの覚書と締結書も披露されました。

総会終了後、約１時間にわたり有志参加者で意見交換が行われました。コロナ禍にもかかわらず、学友会の活発な活動の様子が画面の向こうから伝わってきましたし、ＩＴ技術を駆使したスムースな進行に感服しきりでした。

（事務局長 柚木裕子）

5. 第 2820 地区による世界的プロジェクト

第2820地区（茨城県）をホストとするRotary TEAMJAPANの呼び掛けにより、９月12日、世界のロータリアンがそれぞれの国や地域で、市民の方々とともに海岸や河川の清掃を一斉に行う一大イベント、「ロータリー地球環境保全プロジェクト」が行われました。

しかしこの時、緊急事態宣言下にあった第2820地区では、12日当日は環境保全をテーマとするオンラインパネルディスカッションを行いました。パネリストには、米山学友５人が登場し、モンゴル・ベトナム・中国・韓国・ケニア、それぞれの国での環境問題と保全に向けた取り組みについて発表しました。

そして、本来であれば９月12日に行われる予定であった海岸清掃は、再延期の末、11月３日に開催。当日は地区内全58クラブのロータリアンとともに、米山奨学生・学友が大勢参加しました。海岸清掃に使われた軍手2,000双は、茨城ロータリーＥクラブ会員となった徐佳鋭さんが奉仕として提供したものだということです。

申告用領収書は来年１月にお送りします

ロータリー米山記念奨学会へのご寄付は**税制優遇**を受けることができ、**「税額控除」**か**「所得控除」いずれか有利な方式を選択**できます。今年1～12 月に寄付をした方には、来年 1 月末までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。**12**月**30**日（木）**当会着金分**までが対象です。

米山記念奨学会事務局は、12 月 28 日（火）～1 月 5 日（水）の間休業させていただきます。来年は 1 月 6 日（木）より通常業務となります。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津（のづ）・峯（みね）

Rotary
Region 1 & 2 & 3
コーディネーター NEWS
2022年1月号 No.1
発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

予想もしない長いコロナ禍で、私達に力をくれたのは若い日本人達でした。すぐ頭に浮かぶのは松山英樹さん、藤井聡太さん、反田恭平さん、そして大谷翔平さん達です。彼らの共通点は、小さい頃に憧れの人がいて、そして具体的な目標があったということです。その具体的な目標に向って時間を積み重ね、誰もが不可能だといった目標を達成しています。

具体的な目標をインプットすると、不思議なことにその方向に思考そして行動が向きます。それをロータリーに当てはめてみると、実現できないとされた“ポリオ根絶”を地道に35年かけ、今まさに達成されようとしています。この様に世界規模で活動していることは、現在も着々と世間に取り上げられてはおりますが、達成した暁には公共イメージとして大いにアピールできると考えます。

その様な中、今年度「ロータリー奉仕デー」のもと、環境問題に取り組み「海岸美化プロジェクト」を第2820地区が発案し、ロータリアンとその家族と共に世界規模で行われ大成功をおさめました。ローターアクター、インターアクター、米山奨学生、そして地域のたくさんの方々に参加して頂き、多くのマスメディアを通じて公共イメージアップに貢献致しました。

コロナ禍も先行きは不透明ですが、2021年11月現在の状況として日本の新規感染者は、世界が奇跡と驚くほど減少しています。その理由はまだ誰もわかっていませんが、日本人の特性の清潔感そして他人を思いやる心が何らかの形で寄与している可能性があると思います。さらにロータリーは素晴らしい資質、キャリアそして人間力を持ち合わせた他に類のない人材の宝庫です。この「海岸美化プロジェクト」が多方面に伸び、又それらが長期にわたる可能性を秘めていると確信しております。

冒頭のもう一つのヒントは、なるべく若い時からロータリーの情報に接してほしいということです。公共イメージにおいて10年、20年の長期目標として、若者にロータリーの真髄を浸透させ、将来ロータリーに参加してもらう具体的なプロジェクトのプランも大切であると考えます。卓話などはロータリー内だけでなく、地域の学校などに出向くことも視野にいれ、又もし地域で若者のインフルエンサー等が存在していたら、ロータリーのアドバイザーになって頂くのも一考であります。そして漫画、アニメなどでロータリアンが如何に心豊かに人生を送れるかなどをわかりやすくアピールしたいものです。

この様に、地域を良くしたいとの熱意を世界に発信してアピールできること程公共のイメージアップに繋がることはありません。これからの活動を応援し、また皆様の御協力を御願い致します。

第１地域　ロータリー公共イメージコーディネーター補佐　保延　輝文（石岡RC）

皆さんのクラブでは、せっかく入ってきた新会員が３年も経たずにクラブを辞めていくケースがありませんか？　しかも、それが頻繁であるとコトは厄介かも知れませんよね。

その原因を探ったことがありますか？

その原因について、私の経験を踏まえて分析し、その障害を取り除き、新会員がクラブが楽しいと思うようになるための方策をお教えしましょう。

原因①シニア会員が自ら自覚すべきことを正しく認識していないこと

特に会長を経験したシニア会員は、もうクラブ内の運営については卒業した気分になって協力的ではなくなることだ。クラブのことより、自分のことが優先するとの考えを持つ人がいる。

「俺はいままでクラブに充分に協力してきた。もういいだろう」という感覚だ。でも、クラブを辞めようとはしない。ロータリアンとしてのステータスは保持したいのだ。特に、各種の寄付金やニコニコボックスへの協力などには極めて消極的で、若手に対する手本になっていない。

また、せっかく入ってきた新会員なのに、シニア会員が上手におもてなしを出来ないことから新会員が居心地の悪さを感じ退会していくという場面が何度となくあった。その理由に一つに、シニア会員が自分たちの仲間とだけ同じテーブルに座り、他の会員を寄せ付けない傾向があることだ。こういったシニア会員たちは言う。

「別に新会員を邪険にしているわけではない。向こうから胸襟を開いてくればいいことだ」例会は週に一回のこと、自分の仲間と一緒にいたい気持ちも分からないわけではないが、緊張している新会員のために、彼らの緊張を緩和してあげる役割も現役会員にはあると思う。新会員にしてみれば、せっかく入ったロータリーだ。出来るだけいろいろな人と仲良くなりたいと考えるのは自然なことだ。それに応えるのは、現役会員たちの責務だ。立派な先輩は、まず自分から新会員に話しかけ、席に案内し、隣りに座って雑談に応じる、という態度を取ってくれる。

Rotary
Region 1 & 2 & 3
コーディネーター NEWS
2022年1月号 No.2
発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

私がクラブ会長のとき、日本のロータリークラブの創始クラブである東京ロータリークラブへメークにいったことがある。帝国ホテルの大会場に高崎クラブの会員10人を連れてお邪魔をした。その際に受けた先方の会員たちのフレンドリーでフランクな応対には痺れたものだ。流石は東京ロータリークラブだ、という感想を皆が持った。見渡せば、テレビで見掛ける顔ぶれがたくさんいる。そういった人たちが皆、親切なのだ。ロータリアンの鑑を見た気がした。

原因②新会員へのフォローが不足していること

新会員は、近い将来その周辺の友人たちを連れてきてくれるキーマンであり、その反面彼らを失う（クラブを辞める）ことはその周辺の新会員ターゲット層を根こそぎ失うことを意味する。彼らが、クラブに居続けることは有意義だと思える環境を作ることが大切なのだ。それには、彼らの紹介者やクラブのシニア会員、会長や幹事の役員たちのバックアップ（フォロー）が必要だ。また彼らに対し、単にお客様のようなおもてなしをするのではなく、彼らがロータリーを知り、好きになり、楽しむようになれる教育を提供することが大切なのだ。それは本来、彼らを迎え入れたクラブが責任を持って取り組むべきことなのだが、それが出来るクラブは少ない。彼らはロータリー知識を得る機会が与えられることなく、ただ例会に出席し、ポツネンと昼メシを食って帰るだけのロータリー活動になってしまう。これでは続くはずがない。

解決策①例会場での着席場所を毎回抽選にした

そこで、毎週、例会において同じテーブルに同じ会員、グループが座らない工夫として、私は着席場所を一年間、毎回抽選にした。そうすれば、会員は毎回いろいろな人と交流ができる。なんと楽しいことか、と独りで納得した。ところがそう決めた途端、シニア会員から多くの叱声、罵声が飛んできた。しかもその声は私にではなく、私の女房役の幹事に対して向けられた。でも、幹事はこう言ってひるまなかった。「これは、田中会長が決めたことです。田中さんは他人の言うことは聞かない人です。皆さん、ご存知でしょう？」

その後は、誰からもその件についてのクレームはなかったという。良いと思ったことはやり遂げることが大切だ。

解決策②メークを奨励した

私の会長年度では、「ＫＯＣ（Know Other Clubs）キャンペーン」（他クラブを知ろう）というメーク奨励のイベントを行った。一年を通じ、他クラブへのメーク回数が一番多かった会員を会長が表彰するというものだ。その効用は次のとおり。

ⅰ 他クラブに行って友人に会い、情報交換ができる。
ⅱ メークを知らない新会員を連れて行き、他クラブの雰囲気を体験させることができる。
ⅲ 他クラブにおける見習うべき点を知り、自クラブの運営に取り込むことができる。

実際、こういうことがあった。

ⅰ 高崎市外の他クラブにメークに行って、ロータリーに入りたいという高崎の経営者を紹介してもらったケース
ⅱ 高崎市外の他クラブにメークに行って、高崎への転勤の報告とそのクラブに退会の挨拶をしている人を見かけ、クラブにに誘ったケース
ⅲ 他クラブにメークに行って、その場で同業者から仕事が回ってきたケース
ⅳ 他クラブにメークに行って、合同の社会奉仕活動が決まったケース

以上、すべて実話である。つまりは、数多くのメーク経験が多くのチャンスに巡り合わせてくれる、という当然の帰結である。

ＫＯＣキャンペーンの一等賞は、なんと一年に32回のメークをした会員だった。

最近は、私はＫＯＣキャンペーンに続き、「メーク・ツアー」という他クラブ訪問の企画をしている。一人では訪問出来ないという若手会員数人を引き連れ、私がその案内役を務めている。これまでに、国内のクラブはもとより海外のクラブにも数回行った。その経験者は延べで150人を超えている。皆、メークのベテランになった。

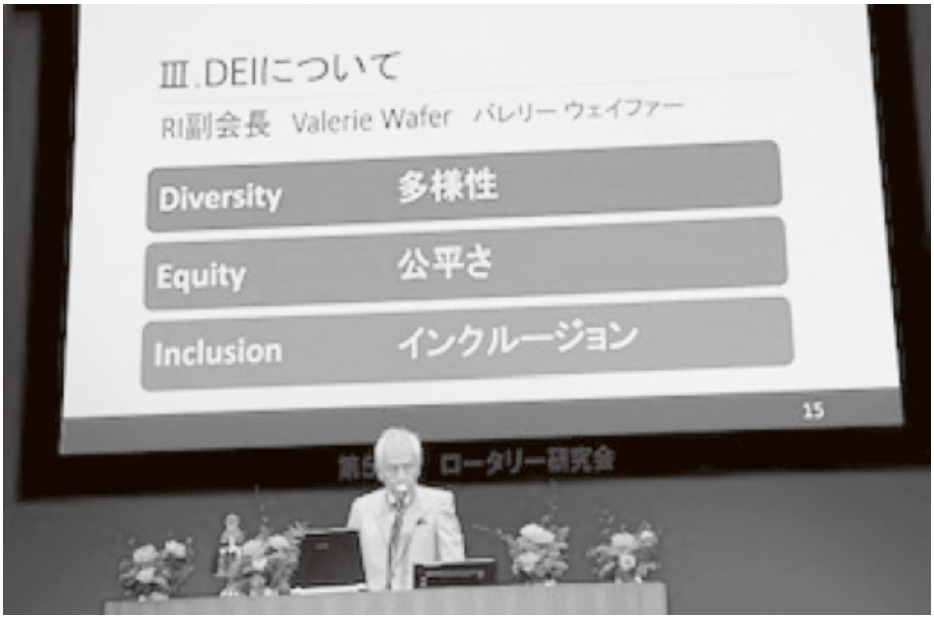
その他、解決策はたくさんある。皆で考えて、苦労して、会員増強活動の結果入ってきてくれた新会員を簡単には失わないで欲しい。

以上は、拙著『ロータリークラブに入ろう！』（幻冬舎ルネッサンス新書・2021年6月刊）から抜粋した。詳しくは、拙著を参照してください。

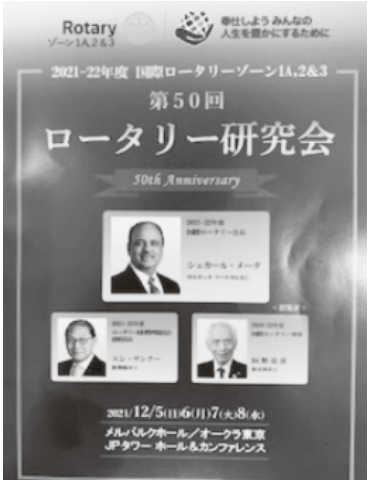
第１地域　ロータリーコーディネーター補佐　田中　久夫（高崎RC）

第1地域 RRFC便り 12月号

第50回ロータリー研究会開催される



＜辰野克彦 RI 理事ロータリー研究会召集者＞



■財団地域セミナーが開催される

晴天に恵まれ12月５日（日）JPタワーホール＆カンファレンスに於いて、2021-22年度財団地域セミナーが登録180名の皆様を迎えて開催されました。20名以上の方が当日登録され、200名を超えるご参加を戴きました。ご来賓に辰野克彦RI理事、三木明TRF管理委員、公益財団法人ロータリー日本財団理事長　千　玄室様、RI理事エレクト佐藤芳郎様をお迎えして開会されました。

大変残念でしたがTRF副管理委員長のユン・サンクー様が来日できなくなり、ビデオレーターでのご参加になりました。

コロナ禍で検温・消毒・健康調査票の記入など徹底的な対策を講じての開催に参加者の皆様も安心してセミナーを受講されたと思います。

財団の支援者が真剣に学んだセミナーになりました。

https://youtu.be/qvoovGCAILM

https://youtu.be/BStQKOd 5 R38

■ユン・サンクー TRF副管理委員長の御挨拶

第50回ロータリー研究会の付随行事として毎年開催されるロータリー財団地域セミナーと翌日開催されるメジャードナー午餐会について少し報告させて貰います。ご協力を願いました皆様にこのメッセージを通じて御礼申し上げます。

このセミナーには、TRF副管理委員長のユン・サンクー様が来日されるご予定でしたが、入国の際の３日間の隔離などの条件がクリアできず、残念ながらビデオレターによるご参加となりました。このビデオレターを拝見致しますと短時間に収録されたことが窺われ段々にお疲れも出ている筈ですのに、力強くロータリー財団の現在と未来についてご講演を賜りました。私ごとですが、親日家のユン様の思いを感じて胸が熱くなりました。奥様のウンスン様の通訳を、2013年度のロータリー研究会の折、娘のさやかがお手伝いしたことがありましたので、余計に親しく感じていました。今回は基調講演のビデオレターを添付致しますので是非ご覧下さい。（羽部記）

■メジャードナー顕彰午餐会

＜左から千 玄室理事長、Dr.Max Iimura様、北清治元TRF管理委員、右の写真はメゾソプラノ徳永桃子様＞

12月６日（月）午前オークラ東京２Ｆオーチャードにおいてメジャードナー午餐会が開催されました。地区ごとに記念写真が撮影され、新装されたホテルに200名を超えるメジャードナーの皆様と、アーチ・クランフ・ソサエティーメンバー（25万ドルを寄付された）の顕彰が行われ三木明TRF管理委員から認証状が贈られ、辰野克彦RI理事から花束が贈られました。今回はコロナ感染症のに係る入国制限措置により、特別ゲストRIシェカール・メータ会長ご夫妻、TRF副管理委員長ユン・サンクーご夫妻がご参加できませんでしたが、E/MGAの皆様の周到な準備により素晴らしい午餐会となりました。

美味しい中華料理と、徳永洋明（とくながひろあき）様徳子（とおこ）様ご夫妻のピアノと美声で会場が一段と盛り上がりを見せていました。写真撮影もスムーズに行われ、お食事も予定された時間内に全てを終了して終えることができました。お手伝いの皆様大変お疲れ様でした。（羽部記）

■パネルディスカッション「みんなのロータリー財団」

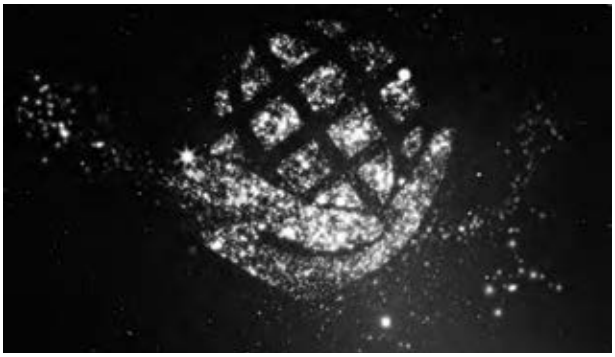
寄稿者：出村　知佳子
国際ロータリー第2510地区Ｒ財団副委員長
〈モデレーター〉
第１地域　RRFC羽部大仁
〈パ　ネ　ラ　ー〉
第３地域　2660地区
宮里唯子　ガバナーエレクト
第２地域　2760地区　中村公彦　ARRFC
第１地域　2510地区
出村 知佳子 ロータリー財団副委員長

「みんなのロータリー財団」のテーマのもと、ロータリー財団地域セミナーのパネルディスカッションが行われました。モデレーターの羽部大仁RRFCより、ロータリー財団の補助金プログラムの使い方（コロナ禍でWFの含めた変更事項もある中）について、３つの質問がありました。
①あなたの地区での補助金の活用とアイディア
②あなたの地区のファンドレージングの事例
③EREYについて
その質問を受け、第２地域の中村公彦ARRFCからは、2760地区で取り組んでいる「ロータリー奉仕デー」(ワールドフード＋ふれ愛フェスタ)『ゼロミッション』（コロナゼロ、カーボンゼロ、ポリオゼロ）について、新しい環境分野である「環境」について取り組み、公共イメージの向上にも結び付けている素晴らしい事例が紹介されました。

第３地域・2760地区 宮里唯子ガバナーエレクトからは、『グローバル奨学金』選考が厳選して行われ、その後「学友」となった奨学生が、世界中の国際機関で活躍する様子をロータリーアンに広く知って頂く機会を作っていくことで、「グローバル奨学金」、「ロータリー財団」の理解が拡がっている嬉しい事例をお聞きすることができました。　第１地域・2510地区からは、MGやGG等の申請・事業の実施を通してその素晴らしさを体感し、その理解が自らの寄付推進へ繋がり、それと同じように若手会員が羽部RRFCの「Take Aciton」を見ていく中でその大切さを強く感じ、「羽部さんが大好きだから、PHSに入会しました」と言った、若手会員のエピソードも紹介されました。

それぞれの個性が表れ、地区、地域の「多様性」が生かされた、楽しいパネルディスカッションとなりました。御参加頂いた皆様に深く感謝申し上げます。

■地球に平和を



親愛なる Daininさん
今年も間もなく師走となりますが、この機会に、「みんなの人生を豊かに」しておられる皆さまのご奉仕に感謝を申し上げます。よりよい世界を築き、私たち自身の中でも変化を生みだすロータリーの活動のインパクトは、皆さまのおかげでさらに大きくなります。私たちは皆、異なる文化をもち、異なる方法で祝祭日を祝いますが、「よりよい明日を築く」というビジョンで結びついています。このビジョンが新年にも私たちに平和と幸せをもたらすことを願っております。
皆さまの心と世界中の家族が喜びで満たされますように。

シェカール・メータ　国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム　ロータリー財団管理委員長

■グローバルパートナーシップとロータリーが協力

【教育のためのグローバルパートナーシップとロータリーが協力】

ロータリーは2020年４月、教育の向上とジェンダーの公平さを推進する複数のステークホルダーのパートナーシップに基づく国際基金「教育のためのグローバルナーシップ」（GPE）と協力関係を結び、以来、各地でインパクトを生み出しています。今年１月に開かれたロータリー国際協議会では、GPEのアリス・オルブライトCEOが講演し、次のように述べました。

「私たちは手を取り合い、女児や貧困地域の子どもたちの生活をよりよくしています。ロータリーは、独自の声をもち、世界を舞台にほぼすべての国で活動しています。皆さんは、その声を使って女児や子どもたちを守り、リソース の公平な配分を政府のリーダーに呼びかけることができます」

■プロジェクトフェアへの参加を促す

RRFCの2021-22年度目標の一環として、地区と協力してクラブによる補助金への参加を促進する戦略を立てることが求められています。これを達成するための一つのアイデアは、プロジェクトフェアへの参加を地区に奨励することです。

プロジェクトフェアは地区によって各地で開催されており、地元のクラブがパートナー候補に向けて奉仕プロジェクトを紹介する機会、また、海外からの訪問者にとっては、クラブの目標に合ったプロジェクトを見つける機会となります。クラブの代表者のほか、ロータリー会員であれば誰でも参加でき、支援するプロジェクトを見つけることができます。 クラブは、グローバル補助金によるプロジェクトだけでなく、あらゆる資金レベルのプロジェクトを展示できます。さまざまなレベルの機会を提示することで、初めて海外パートナーとなるクラブは、小規模なプロジェクトでの協力からスタートし、将来的に大規模なプロジェクトや補助金活動での協力へと発展させていくことができます。

地区は、プロジェクトフェアに参加するために、地区補助金を活用できます。ほかの地区補助金と同様に、DDF（地区財団活動資金）の使用を認める裁量は地区にあります。今年度、多くのプロジェクトフェアはバーチャル形式またはハイブリッド形式での実施が計画されており、これまで以上に簡単に参加できるようになっています。

地区が末永いパートナーシップを築き、国際奉仕プロジェクトに参加する機会を見つける方法として、プロジェクトフェアへの参加を各種コミュニケーションや研修で紹介しましょう。

今後開催が予定されているプロジェクトフェアの情報を調べることができます。ご質問は rotary.service@rotary.org にご連絡ください。

■ブラジルと日本のクラブによる協力活動

「読者の補助機器の使い方を学ぶ教師」

【視覚障がい者教育のための教師研修：
ブラジルと日本のクラブによる協力活動】

視覚障がい者の教育を支援するにしても、そのための訓練を受けた教師がいなければ実現は困難です。そこで、ブラジルのロータリー会員は、専門スキルのある教育者を増やすために、教育支援団体 Dorina Nowill 財団とのパートナーシップを結びました。サンパウロ・リベルタージ・ロータリークラブが、日本の富士宮ロータリークラブの支援を受けて実施したこのプロジェクトでは、2019年４月から５月にかけて、169名の教師が研修を受けました。

■ロータリーの「女児のエンパワメント」の取り組み

寄稿者：山田 邦子
女児エンパワメント
アンバサダー
第2840地区パストガバナー

「おしん」は世界中にいる

～ ロータリーの「女児のエンパワメント」の取り組み ～

2021-22年度国際ロータリー会長のシェカール・メータ氏は、会長肝いりのイニシアチブとして「女児のエンパワメント（Empowering Girls）を挙げています。その目的は、女児の安全、健康、教育、福祉を向上させることです。なぜ女児のエンパワメントが重要なのでしょうか。

- 家族の健康が改善されます。
- 女児が教育を受けることで、収入が増し、家族が貧困から脱します。
- 女性が男性と同じ就労率で働いた場合2025年には世界総生産に28兆ドル増加が見込まれます。
- 国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」に、ジェンダー平等の実現が含まれています。
- 私たちには、女児の権利を守り、福祉を推進し、すべての女児が自身の力で未来を切り開けるようにしていく義務があります。

会長イニチアチブの資料によると次のことが分かります。世界では男児を好む傾向があり、世界人口を見ると女性は男性より１億4000万人少なくなっています。南アジアの女児５人中に１人は重度の低体重に陥っています。HIV感染女児は97万人に上ります。学校ではトイレの衛生管理が欠如しており、女児欠席の原因になっています。児童婚が多く、女性の学歴と収入の向上を妨げています。女児への暴力、虐待、人身売買の被害が絶えません。思春期の妊娠・出産中の合併症が、死亡の主な原因となっています。また、世界の９億6000万人が非識字者で、その３分の２が女性です。しかし、現代の日本では、これらの状況を想像することが難しく、コロナ禍により海外交流も減少しており、女児エンパワメント活動の手がかりが掴みづらいのが現状ではないでしょうか。私もアンバサダーとしての役目に焦りを感じております。

身近なところから女児のエンパワメントを考える　「おしん」をご存知でしょうか？1983年４月から１年間、テレビ放映されたNHK連続テレビ小説の題名となった女性の名前です。この番組は平均視聴率52.6％と非常に高く、朝の放映時間中は水道の使用量が激減したと言われています。この番組を子どもたちに見せるために、夏休み中に何度も放送されました。世界60以上の国・地域で放映され、シンガポールで80％、中国北京で75.9％、イランでは90％の高視聴率となり、「経済大国の底力」とも評されました。発展途上国を大いに勇気づけたと言われています。おしんの国に憧れて日本留学を決めた米山奨学生もいました。おしんは1901年に山形県の山村で生まれました。貧しさによる口減らしで７歳で米１俵と引き換えに奉公（人身売買）に出されます。少女おしんは、貧困、虐待、いじめ、修行の中で、奉公先の女当主に習字、そろばん、帳簿つけ、生け花、茶の湯、行儀作法の教育を受け、これが後の人生で大きな力となります。関東大震災、第二次世界大戦等で、商売の挫折、大切な人との別れを経験しながら、子ども、養子、養女を育て、魚行商からはじめて83歳で17店舗のスーパー経営に成功します。まさに、経済大国ジャパニーズドリーム物語です。おしんは、女児エンパワメントの好例です。一人の少女が虐待や人身売買を経験しても、教育やさまざまな修行を受けることで力づけられ、健康な家族を育て、社会経済の発展に貢献できたのです。世界を見ると、現在も「おしん」は沢山います。活動規模の大小を問わず、世界中の「おしん」に力を与えましょう。それによって、きっと「おしん」は家族を健康にし、社会経済を支える力となり、世界の発展に貢献できるようになるでしょう。自分に何ができるかと思う方も多いかと思います。わずかではありますが、ここにクラブでの取り組みを検討できるニーズをご紹介いたします。

- コロナ禍における女児保護への認識向上：**国連広報センター**によると、都市封鎖（ロックダウン）により、女性と女児に対する暴力のリスクが増大しています。
- 教育におけるジェンダー平等の啓発：「男子はわんぱく、女子は優しい」といった偏見が、将来に無給の家事・育児・介護を女性に強いることにつながります。また、理学・工学系での男高女低、家政系での女高男低の違いが生じたりします（**令和元年度学校基本調査**を参照）。

皆さまのご活動をロータリーショーケースでご紹介ください

クラブで「女児のエンパワメント」につながる活動をされた場合は、**ロータリーショーケース**でご紹介ください。掲載される際は、女児のエンパワメントのタグ（EmpoweringGirls2021）をご使用ください。皆さまのご協力をどうぞお願いいたします。

■パネルディスカッション「輝く未来を創る」

【未来を創る奉仕活動～ロータリーの重点分野を考えて】
重点分野に環境が７番目に加わる

新井和雄 第2820地区ガバナーの「地球環境保全プロジェクト」は11月の第１地域RRFC便りにも紹介させて戴きましたが、この記事はロータリーボイスにも掲載されたものです。新井ガバナーの行動力の成せる技と言っても言い過ぎではありません。今回のロータリー研究会の第１日目の話題性を集めた発表になりました。このパネルディスカッションではモデレーターを我々財団チーム第２地域RRFC服部良男PDGが見事に進行されました。

このプロジェクトは世界中の30以上の国と３万人を超える人々が参加するものとなりました。心からの敬意を捧げたいと思います。このプロジェクトの成功をシェカール・メータ国際ロータリー会長も賛辞を送っておられます。辰野克彦国際ロータリー理事も「新井ガバナーが地球環境保全プロジェクトを成功に導いた実行力に敬意を表する次第です。本プロジェクトが、今後も続けて行われる事を期待しております。」と述べておられます。この中で、辰野理事はポールハリスの言葉を引いて「大勢の人が多くを語るが、肝心なのはそれを実行する事だ」。

新井ガバナーの提案に賛同してそれぞれの地区で実行されたガバナーの皆さまにもこの誌面を借りて心からの感謝を申し上げます。（羽部記）

■子規の句と椿

この２年半に亘り、正岡子規の句を多く紹介して来ました。そんなに子規が好きですか？

と聞かれても答えようがありません。松尾芭蕉と言えばまた日本を代表する句人であるわけです。比較なども出来る訳もありませんが、生涯に２万首の句を読んだ句人は他におられません。それには人間性のようなものが一つの手掛かりになるように思います。生き様が好きなのだと思います。余り美男子でなく、一休禅師や槇原敬之に何処か似ている感じがします。

我々人間はいつも二項対立を起こして良い悪いや好き嫌いを言います。忙しく日を過ごすと自分が見えなくなるとはお釈迦様の教えでもあります。そんな時、ちょっと休んで自身を振り返ることが大切なのだと歌われたのが

「くたひれを　やすめる道の　椿哉」

に子規の心だったのかと頷いています。

もう一つ仏教に則ちお釈迦様の教えは、生活と一枚の教えです。そこで仏教は何かと尋ねると、「慈悲」と「智慧」だと教えています。「慈悲」は相手を思いやる心です。

ロータリーでは「超我の奉仕」にはひとまず自分の事は置いて、相手のためになるかどうか？を基本に生きる道とされています。仏壇にお花を備えます。仏様にお供えするのに何故仏様に向けずに私に向けて供えるのでしょうか？それこそが美しい花を見て美しい気持ちとさせて貰うことを意味しています。また「智慧」ですがこれは仏道修行の方法に六波羅蜜を行ずることを教えています。布施・持戒・忍辱・精進・禅定・智慧と出てきます。この最後の智慧を人生の生き方（ヒント）を示しています。即ち暗闇で幾ら多くの宝があってもつまずくだけです。この智慧を表すのが燈明です。お光なのです。

疲れたら一休みして椿を見て一服しましょうか。（羽部記）

地区カレンダー　1月・2月

1月　職業奉仕月間

1	土	元旦
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	成人の日
11	火	
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	公式訪問(函館セントラルRC)
19	水	
20	木	
21	金	
22	土	ガバナー補佐会議(函館)
23	日	
24	月	
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	学友交流・帰国報告会(札幌・ハイブリット開催)
30	日	RLIパートⅢ
31	月	

2月　平和と紛争予防／紛争解決月間

1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	第9グループIM（伊達）
7	月	～14日(月)国際協議会(バーチャル開催)
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	建国記念の日
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	地区チーム研修セミナー（札幌）
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	天皇誕生日
24	木	
25	金	
26	土	第8グループIM（静内）
27	日	
28	月	

2021年1月のロータリーレートは地区HPをご覧下さい。

会員数・例会回数報告

グループ	クラブ名	例会数	会員数 '2021.7.1	'2021.11.30	増減	内女性
1	深川	3	32	34	2	2
	羽幌	3	36	36	0	1
	留萌	2	25	25	0	4
	小計		93	95	2	7
2	赤平	3	20	20	0	2
	芦別	2	28	28	0	2
	砂川	3	39	39	0	1
	滝川	2	84	84	0	5
	小計		171	171	0	10
3	美唄	3	22	21	-1	0
	江別	3	36	37	1	1
	江別西	3	35	35	0	3
	岩見沢	4	91	92	1	1
	岩見沢東	2	17	16	-1	2
	栗沢	2	18	18	0	1
	栗山	4	25	24	-1	4
	当別	2	26	26	0	0
	小計		270	269	-1	12
4	札幌	2	121	137	16	2
	札幌はまなす	3	17	17	0	2
	札幌北	3	38	39	1	4
	札幌モーニング	2	36	36	0	0
	札幌西	3	50	50	0	11
	札幌西北	2	30	32	2	3
	札幌手稲	2	34	33	-1	3
	小計		326	344	18	25
5	札幌東	3	113	116	3	0
	札幌清田	3	11	11	0	3
	札幌幌南	3	59	59	0	3
	札幌真駒内	2	20	21	1	6
	札幌南	3	76	77	1	2
	札幌大通公園	2	12	12	0	3
	札幌ライラック	2	14	13	-1	4
	新札幌	2	24	25	1	5
	小計		329	334	5	26
6	岩内	2	26	27	1	1
	倶知安	2	33	34	1	3
	小樽	4	72	73	1	3
	小樽南	3	60	61	1	3
	小樽銭函	2	15	15	0	1
	蘭越	4	8	8	0	0
	余市	4	37	37	0	3
	小計		251	255	4	14

11月会員増減数

クラブ数	69クラブ
期首会員数	2,418人
当月末会員数（女性）	2,465人(173人)
増加会員数	47人

グループ	クラブ名	例会数	会員数 '2021.7.1	'2021.11.30	増減	内女性
7	千歳	3	74	75	1	10
	千歳セントラル	2	42	43	1	10
	恵庭	3	45	46	1	3
	北広島	3	15	15	0	0
	長沼	3	16	16	0	3
	由仁	2	8	8	0	1
	小計		200	203	3	27
8	えりも	2	17	17	0	1
	三石	5	11	11	0	0
	様似	3	14	14	0	1
	静内	2	64	65	1	4
	浦河	3	20	21	1	2
	小計		126	128	2	8
9	伊達	3	61	61	0	2
	室蘭	3	30	32	2	2
	室蘭東	3	31	32	1	3
	室蘭北	4	52	53	1	2
	登別	4	26	26	0	1
	洞爺湖	2	11	11	0	1
	小計		211	215	4	11
10	函館	4	57	66	9	2
	函館亀田	4	33	33	0	4
	森	2	33	33	0	0
	七飯	4	15	15	0	0
	長万部	2	10	10	0	0
	函館セントラル	4	23	23	0	2
	小計		171	180	9	8
11	江差	2	9	10	1	1
	函館五稜郭	4	47	49	2	0
	函館東	4	36	37	1	8
	函館北	2	17	13	-4	1
	北斗	4	12	12	0	0
	小計		121	121	0	10
12	白老	2	30	28	-2	3
	苫小牧	4	59	62	3	2
	苫小牧東	4	32	32	0	7
	苫小牧北	2	28	28	0	3
	小計		149	150	1	15
合計			2,418	2,465	47	173

※岩見沢ＲＣには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数14名（内女性会員０名）を含む

表紙の解説

1834年（天保5年）相模国（現在の神奈川県）の農家に生まれる。

1856年22歳で二宮尊徳（31歳）の門下生となる。

1858年（安政5年）幕府（箱館奉行所）から箱館在住を命ぜられ、木古内村や大野村に農民を迎え入れて8年間にわたり開墾。

1866年（慶応2年）4月　石狩国札幌郡（現在の札幌市東区）へ移り、フシコサッポロ川（現伏籠川）上流周辺地域を、一定の保護のもと農民を入植、定住をさす「御手作場」と定め、道路や橋などの建設工事に着手。

伏籠川の流路を利用したおよそ4キロメートルに渡る用排水路「大友堀」を造る。これが後に創成川の土台となる。

大友亀太郎によって基盤がつくられた札幌村の農業は、雑穀から果樹栽培を経て、玉ねぎ栽培へと移行して、我が国の玉ねぎ栽培の先進地として発展を遂げている。

最初に入植したのは「元村」ですが、明治4年に「苗穂村」「丘珠村」「札幌新村」が元村に合併して「札幌村」となる。

1868年明治維新

1871年開拓使を辞し、札幌を去る。

1881年神奈川県議

1897年享年64歳

Rotary District2510